

(チーム送付1/2)

06/07/18

関係各位

(財)日本水泳連盟  
飛込委員長 有光佑志朗

「日本選手権飛込競技」お知らせ

貴クラブにおかれましては、益々ご隆盛のことと存じます。  
今回、室内選抜飛込競技大会にお申込みを戴き有り難う御座いました。  
最終準備の結果、下記の事項が決定致しましたのでお知らせ致します。

記

会場 東京都辰巳国際水泳場  
江東区辰巳 2-8-10 TEL 03-5569-5061

日程

- 8月 2日(水)  
開門 9:00  
公式練習 9:00~17:00
- 8月 3日(木)  
開門 9:00  
公式練習 9:00~16:00  
監督者会議(第4会議室) 16:00~
- 8月 4日(金)  
開門 9:00  
1) 女子 3m飛板飛込 予選 10:00~  
開始式 12:15~  
2) 男子 1m飛板飛込 決勝  
3) 女子 3m飛板飛込 決勝  
4) 男女 3mシンク口 決勝
- 8月 5日(土)  
開門 9:00  
5) 男子 3m飛板飛込 予選 10:00~  
6) 女子 高飛込 予選  
7) 男子 3m飛板飛込 決勝  
8) 女子 高飛込 決勝
- 8月 6日(日)  
開門 9:00  
9) 男子 高飛込 予選 10:00~  
10) 女子 1m飛板飛込 決勝  
11) 男子 高飛込 決勝  
12) 男女 10mシンク口決勝

表彰式は各競技終了後に実施します。  
時間詳細は監督者会議で発表します。

## 公式練習

8月2日(水) 9:00~17:00

8月3日(木) 9:00~16:00

レストラン側入口で受付を済ませて入場して下さい。

サブプールは一般公開中です。選手、付添票を携行して下さい。

## 監督者会議

8月3日(木) 16:00~ 会場(2F)第4会議室

**監督、コーチは必ず出席**して下さい。不在のチームは選手の出席も可。

## 種目エントリー受付

- ・当該競技前日の12:00~15:00に予選~決勝の演技種目エントリー用紙を記録本部脇の投函箱に入れること。日水連ホームページよりダウンロードした用紙の使用可。全日程をまとめて投函しても可。

## シンクロナイズドダイビング

- ・演技種目エントリーは専用用紙に記載して投函箱に入れること。専用用紙は日水連ホームページよりダウンロードして下さい。
- ・飛板はタワーからプールに向かって左側の2枚のみを競技会で使用します。右側の1枚は競技会では使用禁止です。
- ・タワーからプールへ向かって左側をAサイド、右側をBサイドとします。

## ドーピングコントロール

本大会で実施いたします。別添資料を参照のこと。

速報は全競技終了後に、まとめて「PDFファイル」にてお渡しいたします。

USBメモリーにタグ(チーム名記載)を付けて監督者会議に提出して下さい。

## 会場使用

- ・サブプールは一般公開中です。
- ・水着以外で入場する場合、選手は選手票、監督コーチは付添い票を必ず携行して下さい。当日、受付にて配布いたします。
- ・上履きはダイビングプールサイドのみ使用可。ロッカールームとの間は素足で移動して下さい。
- ・更衣室ロッカーは使用禁止です。
- ・会場備置の「氷」は事故等の緊急用のため、差し上げられません。日常的なアイシングに使用する「氷」は各自で用意持参して下さい。
- ・車での来場の際は本会場の有料駐車場をご利用下さい。付近道路はすべて駐車禁止区域となっております。

実行委員会 担当者連絡先

坂野 徹 sakano-t@mbm.ocn.ne.jp 090-8746-1698 048-281-3460

日本水泳連盟 <http://www.swim.or.jp/index.html>  
jpn-swimming@japan-sports

辰巳国際水泳場 <http://www.necsoft.co.jp/kiba/t-swim> (一般公開情報)

第 82 回日本選手権水泳競技大会（飛込競技）に参加される競技者および競技支援要員（競技者のチームスタッフなど）の皆様へ

（この内容は 2006 年 1 月 1 日から 2006 年 12 月 31 日まで有効）

本競技会では、（財）日本水泳連盟アンチ・ドーピング規則に基づき、ドーピング検査（競技会検査）が行なわれます。

検査の対象となった競技者は、競技後、係員から通知を受けます。あとは、係員の指示に従って下さい。

競技者は不注意による禁止薬物使用から、競技支援要員は不注意による禁止薬物投与から、それぞれアンチ・ドーピング規則違反とならないように十分注意してください。

市販の総合感冒薬の大多数、葛根湯などに、禁止物質（競技会検査に限る）が含まれています。競技前 3 日間は使用しないでください。その他の市販薬にも競技会検査における禁止物質が含まれていることがあり、競技者は競技前の市販薬の使用をできるだけ避けることをお勧めします。

内容の不明確な外国製のサプリメントは使用しないでください。

何らかの疾患で、病院・診療所などから継続して処方を受けている競技者は、別紙「主治医先生へお願い」を、主治医の先生にお渡しください。特に喘息の選手は必ずそのようにしてください。また、競技の直前（特に競技前 7 日間）に病院を受診する場合も、担当先生に「主治医先生へお願い」をお渡しください。

治療のために禁止物質をどうしても使用しなければならない選手は、「治療目的使用の適用措置（TUE）申請書」を、下記あてに提出してください（詳しくは、別紙「主治医先生へお願い」を参照してください。特に喘息の吸入薬で、申請が必要なことが多いようです。）

< 提出先 >

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育館内 （財）日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会、治療目的使用の適用措置申請書係あて

## 主治医先生へお願い

(この書類の内容は2006年1月1日から2006年12月31日まで有効です。)

先生におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また日頃は(財)日本水泳連盟所属の選手を御診療いただき誠にありがとうございます。

さて、本状持参の選手は、ドーピング検査が行われる競技会に出場する選手か、あるいは競技外ドーピング検査の対象者であることから、以下の点を御考慮いただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

競技会で競技終了後に行われるドーピング検査などにおいて、「世界アンチ・ドーピング規程国際基準2006年禁止リスト」の「競技会で禁止される物質と方法」の使用が明らかになりますと、それが医学的に妥当なものであっても、選手は失格および資格停止などの処分を受けることになります。「禁止リスト」は日本アンチ・ドーピング機構のホームページ(<http://www.anti-doping.or.jp>)で参照可能です。

使用可能な病院処方薬の例を以下に示します。

PL 顆粒、ブルフェン、ロキソニン、ボルタレン、ダーゼン、アストミン、メジコン、ポララミン、アルサルミン、ケルナック、タガメット、ガスター、ブスコパン、ナウゼリン、プリンペラン、ロペミン、タンナルピン、酸化マグネシウム、ブルゼニド、インタール、ザジテン、イソジンガーゲル、サワシリン、クラビット、タミフル、フェロミア  
(上記以外にも使用可能な医薬品はあります)

治療のためにどうしても禁止物質を使用しなければならない場合は、治療目的使用の適用措置(TUE)申請書の提出をお願いします。TUE申請には略式TUE申請と標準TUE申請があります。書式は日本アンチ・ドーピング機構のホームページ(<http://www.anti-doping.or.jp>)よりダウンロードしてください。

略式 TUE 申請：不備のない書類が受理された時点で使用が許可となります

<対象となる禁止物質>

- 1) 吸入によるベータ2作用剤(国内ではサルブタモールとサルメテロールのみ対象)
- 2) 非全身的使用経路による糖質コルチコステロイド(全身的使用経路とは経口投与、直腸内投与、静脈投与、筋肉投与で、これは標準TUE申請が必要です。それ以外が非全身的使用経路ですが、皮膚への使用および耳、鼻、口腔内、眼疾患の治療のための局所投与は許可されておりTUE申請は不要です)

標準 TUE 申請：審査の結果、ドーピング規則上の許可、不許可が決定されます

<対象となる禁止物質>

禁止物質のうち、略式TUE申請の対象にならないもの

最終的に国際水泳連盟に行く書類となりますので英文でお願いします。なお、診療報酬上の扱いは「文書料」です。御面倒をおかけして大変申し訳ありませんがどうぞよろしくお願いいたします。

(財)日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会